

目的

琉球泡盛の海外展開を促進するため、官民の関係者一体となった取組を推進
 (目標値) 平成32年(2020年) 70キロリットル、平成34年(2022年) 100キロリットル
 ※現状(平成29年(2017年)) 29キロリットル

構成

目的に賛同する関係団体、地方公共団体、関係府省などで構成

【顧問】 宮腰光寛 内閣総理大臣補佐官

【会長】 小泉武夫 東京農業大学名誉教授

【副会長】 玉那覇美佐子 沖縄県酒造組合会長

【会員】

(関係団体等)

沖縄県酒造組合、沖縄県卸売酒販組合連合会、沖縄県小売酒販組合連合会、沖縄県商工会連合会、
 沖縄県商工会議所連合会、沖縄県産業振興公社、沖縄県ホテル協会、沖縄観光コンベンションビューロー、
 泡盛マイスター協会、日本ソムリエ協会、沖縄県物産公社、沖縄振興開発金融公庫 ほか

(地方公共団体・関係府省)

沖縄県、内閣府、国税庁、内閣官房、外務省、農水省、観光庁、JETRO

取組内容

- ・行動計画(平成30年3月7日)に基づき、プロジェクト会員(個人・団体)が、「訪日外国人」と「海外市場」の2つの視点から、6分野53の取組を実施
- ・プロジェクト会合を開催し、会員相互の取組について情報交換

具体的な関連プロジェクトの例

- ・欧米・アジアでのモデル事業の実施を通じて、泡盛酒造所の販路拡大に向けた事例共有(内閣府)
- ・在外公館等において、会食、レセプション、文化事業等の機会を捉え、泡盛のPRの実施(外務省)
- ・「島酒フェスタ」による地域DMOとの連携した酒蔵ツーリズムの取組(沖縄県酒造組合) など。

当面の予定

4月13日：第1回プロジェクト会合を開催
 14日：プロジェクト設立記念イベントを開催
 (第1回島酒フェスタ(沖縄セルラーパーク那覇)で開催)

参考資料 2

琉球泡盛海外輸出プロジェクト 規約

平成30年1月29日制定

(名称)

第1条 本会は、「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」と称する。

(目的)

第2条 本会は、琉球泡盛の輸出を促進するため、関係者一体となった取組を推進することを目的とする。

(会員)

第3条 会員は、本会の目的に賛同する関係団体、地方公共団体、関係府省、個人等により構成する。

(活動)

第4条 本会は、会員の合意に基づき、次の活動を行う。

- (1) 琉球泡盛の輸出に関する情報の収集・分析及び共有化
- (2) 琉球泡盛の輸出に係る普及啓発及び広報
- (3) 輸出促進に関する方策の検討及び実施
- (4) 本会の会員による取組の連携・調整
- (5) 本会の活動に関係する組織との連携
- (6) その他

(役員)

第5条 本会に、会長及び副会長を置く。

2 本会に、名誉会長及び顧問を置くことができる。

(幹事会)

第6条 本会の下に、幹事会を設置する。

2 幹事会は、幹事長及び幹事により構成する。幹事については、必要に応じて追加等の変更を行うことができる。

(事務)

第7条 本会の事務は、内閣府沖縄総合事務局、沖縄国税事務所及び沖縄県酒造組合において協同して執り行う。

(その他)

第8条 本規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は幹事会が定める。

琉球泡盛海外輸出プロジェクト
会員名簿

平成30年4月1日現在

(関係団体等)

玉 那 覇 美 佐 子	沖縄県酒造組合	会長
土 屋 信 賢	沖縄県酒造組合	専務理事
喜 屋 武 善 範	沖縄県卸売酒販組合連合会	会長
中 地 健	沖縄県小売酒販組合連合会	会長
當 山 憲 一	沖縄県商工会連合会	会長
石 嶺 伝 一 郎	沖縄県商工会議所連合会	会長
末 吉 康 敏	公益財団法人沖縄県産業振興公社	理事長
當 山 智 士	一般社団法人沖縄県ホテル協会	会長
平 良 朝 敬	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー	会長
新 垣 勝 信	一般社団法人泡盛マイスター協会	会長
田 崎 眞 也	一般社団法人日本ソムリエ協会	会長
島 袋 芳 敬	株式会社沖縄県物産公社	代表取締役社長
川 上 好 久	沖縄振興開発金融公庫	理事長
小 泉 武 夫	東京農業大学	名誉教授
下 地 芳 郎	琉球大学	教授
花 牟 礼 真 一	三井物産株式会社	那覇支店長
安 田 正 昭	琉球大学	名誉教授
渡 嘉 敷 祐 介	沖縄ブルーオーシャンフーズLLC	代表

(地方公共団体)

屋 比 久 盛 敏	沖縄県商工労働部長
神 谷 順 治	沖縄県商工労働部 ものづくり振興課長

(関係府省等)

宮 腰 光 寛	内閣総理大臣補佐官
北 村 信	内閣府沖縄振興局長
安 藤 年 式	内閣府沖縄振興局 参事官(調査金融担当)
川 嶋 貴 樹	内閣府知的財産戦略推進事務局 次長
能 登 靖	内閣府沖縄総合事務局 局長
後 藤 一 也	内閣府沖縄総合事務局 総務部長
荻 堂 信 代	内閣府沖縄総合事務局総務部 振興企画官
並 木 稔	国税庁長官官房審議官
田 村 公 一	国税庁課税部 酒税課長
脇 本 利 紀	国税庁沖縄国税事務所長
島 袋 伸	国税庁沖縄国税事務所 酒類業調整官
高 山 成 年	内閣官房内閣参事官
濱 田 真 一	外務省経済局 官民連携推進室長
中 澤 克 典	農林水産省食料産業局 輸出促進課長
蔵 持 京 治	観光庁観光地域振興部 観光資源課長
高 橋 和 宏	独立行政法人日本貿易振興機構 農林水産・食品部長
西 澤 裕 介	独立行政法人日本貿易振興機構沖縄貿易情報センター 所長

琉球泡盛海外輸出プロジェクト
役員

〈役員〉

顧問	宮腰 光寛	内閣総理大臣補佐官
会長	小泉 武夫	東京農業大学 名誉教授
副会長	玉那覇美佐子	沖縄県酒造組合 会長

〈幹事会〉

幹事長	土屋 信賢	沖縄県酒造組合 専務理事
幹事	安藤 年式	内閣府沖縄振興局 参事官(調査金融担当)
同	荻堂 信代	内閣府沖縄総合事務局総務部 振興企画官
同	田村 公一	国税庁課税部 酒税課長
同	島袋 伸	国税庁沖縄国税事務所 酒類業調整官
同	神谷 順治	沖縄県商工労働部 ものづくり振興課長

琉球泡盛海外輸出プロジェクト行動計画（概要）

【現状と課題】

- 泡盛製造業は沖縄の貴重な地場産業であり、雇用の確保や地域経済の振興に重要な役割
- 泡盛の海外輸出については日本酒やウイスキーなどに比べて遅れているが、平成29年に沖縄を訪れた外国人観光客数は約254万人、6年連続で過去最高となるなど、海外における泡盛の認知度向上を図るには追い風
- 関税や貿易コスト等によって販売価格が高くなることへの対応、外国人に対するプロモーションの不足、外国語への対応のための人材確保や輸出のための知識不足などが課題

【行動計画】

- プロジェクト会員（個人及び団体）が、「訪日外国人」と「海外市場」の2つの視点と、6分野53の取組で泡盛酒造所の海外輸出を官民一体となって後押し

- ✓ 特に中国本土をはじめとするアジアからの観光客に泡盛の魅力を効果的に伝え「泡盛ファン」を増やす
- ✓ 沖縄県内でスムーズに泡盛を「観光土産」として購入できるようにする
- ✓ 帰国後も「泡盛ファン」（＝インフルエンサー）として泡盛の普及につなげる

訪日外国人に対する視点

- ✓ 泡盛は、ウオッカ、ジン、テキーラ等と並ぶ世界的な「ハードリカー」としての可能性が秘められており、北米、欧州の市場への浸透を図る
- ✓ 海外の市場への浸透を図るため、ターゲットを絞ったプロモーションを進め、泡盛の認知度向上に向けた取組を進める

海外市場に対する視点



情報発信の強化

- ✓ インフルエンサー等を活用した琉球泡盛の魅力の国内外へ発信 など

効果的な販路拡大・市場拡大

- ✓ モデル事業の実施を通じた販路拡大に向けた事例共有や海外での現地サポート など

品質・技術の向上／人材の育成

- ✓ 外国人に対する商品説明能力の向上 など

まずは「3年後に倍増」の実現

泡盛輸出数量

2020年に70KL・2022年に100KL

ブランド力の向上

- ✓ 地理的表示（琉球）の活用や古酒のブランドイメージの向上 など

輸出環境の整備

- ✓ 各国の関税・非関税障壁の撤廃に向けた取組 など

インバウンドとの連携

- ✓ クルーズ船向けPRの実施や酒蔵ツーリズムへの取組 など

琉球泡盛海外輸出 プロジェクト 行動計画

平成30年3月7日

1. 行動計画

【現状と課題】

泡盛製造業は、沖縄の貴重な地場産業として、雇用の確保や地域経済の振興等に重要な役割を果たしています。その一方で、泡盛の出荷数量が平成16年（2004年）の27,688キロリットルをピークに12年連続して減少するなど、泡盛製造業は厳しい状況に置かれています。

沖縄県酒造組合、泡盛酒造所を始めとする泡盛製造業関係者は、県内、県外での泡盛の消費拡大に向けて取り組んでいます。海外への輸出については平成28年で20社、37キロリットルであり、日本酒やウイスキーなど他の日本産酒類に比べ海外展開が遅れています。こうした中で、平成29年に沖縄を訪れた外国人観光客数は約254万人を記録し、6年連続で過去最高となるなど、海外における泡盛の認知度向上を図るには、今追い風が吹いています。

平成29年9月に沖縄県酒造組合が実施したアンケート調査によれば、22社が海外輸出を予定と回答しており、海外への販路拡大に向けた動きがある一方で、関税や貿易コスト等によって販売価格が高くなることへの対応、これまでの海外輸出は現地在住邦人向けが主体であり、外国人に対するプロモーションの不足、外国語への対応のための人材確保や輸出のための知識不足といった泡盛酒造所側の課題などが挙げられています。

【プロジェクトの取組】

「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」では、泡盛製造業関係者が自ら定めた「3年後に倍増」計画（泡盛輸出数量を2020年に70キロリットル、2022年に100キロリットル）を実現するため、泡盛の輸出拡大への課題に取り組み、泡盛酒造所の海外輸出に向けた取組を官民一体となって後押ししていきます。

そのためには、次のような視点をもって取組を進めていきます。

①訪日外国人に対する視点

「本格焼酎・泡盛の輸出基本戦略」（平成28年3月日本酒造組合中央会）にあるように、まずは沖縄を訪れる外国人観光客、特に中国本土を始めとするアジアからの観光客に泡盛の魅力を効果的に伝えることにより「泡盛ファン」を増やすとともに、沖縄県内でスムーズに泡盛を「観光土産」として購入できるように、取組を進めていきます。

さらに、訪日外国人が帰国後に、現地で「泡盛ファン」（＝インフルエンサー）として、泡盛の普及につなげることができるよう、現地での情報提供や、提供者・販売者への支援に向けて取組を進めていきます。

②海外市場に対する視点

泡盛は、ウオッカ、ジン、テキーラなどと並んで、世界的な「ハードリカー」としての可能性が秘められています。泡盛の北米、欧州の市場への浸透を図るために、ターゲットを絞ったプロモーションを進めることにより、泡盛の認知度向上に向けた取組を進めていきます。

【会員の取組】

プロジェクト会員は、2つの視点を踏まえながら相互に連携し、それぞれが以下の取組を行います。

（１）情報発信の強化

- ・ 泡盛百科の充実（スマホ対応含む）や多言語対応、また各酒造の提供コンテンツをまとめた、消費者向けの提案型集約サイトの確立を目指します。（沖縄県酒造組合）
- ・ 海外プロモーション事業及びリゾートウェディング事業において、泡盛の情報発信、利活用の促進強化などを行います。（（一財）沖縄観光コンベンションビューロー）
- ・ 国内外で開催される発信力の高いイベント等を通じて琉球泡盛の魅力を発信します。（内閣府知的財産戦略推進事務局）
- ・ インフルエンサー等を活用して、琉球泡盛の魅力（歴史や文化、製造方法、飲み方など）を国内外へ発信します。（内閣府知的財産戦略推進事務局、沖縄国税事務所）
- ・ 関係団体が海外メディアやインフルエンサーを沖縄に招へいする機会を捉えて泡盛の紹介を行うことで、泡盛情報の海外発信を図り、海外での泡盛の知名度向上及び普及につなげます。（独立行政法人日本貿易振興機構）
- ・ 本プロジェクトに関する情報、支援施策等について、一元的な情報発信を行います。（プロジェクト事務局）

（２）効果的な販路拡大・市場拡大

- ・市場ニーズへの適切なマッチングを行うために、国別客層のペルソナ調査分析を実施し、泡盛業界での共有のターゲット別嗜好指標を作成し、消費者のモチベーションを促すための機会創出の切り口を見出します。また、調査を分析し、海外の方に好まれる、例えば、食事のシーンに合せた酒器などを含む飲み方を提案します。（沖縄県酒造組合）
- ・各国のバイヤーが来場する国内の大型酒類展示見本市へ出展します。（沖縄県酒造組合）
- ・沖縄国際物流ハブ活用推進事業、沖縄大交易会、海外事務所による現地サポートなど沖縄県産業振興公社の有する中小企業支援メニューを活用し、泡盛酒造所の海外展開を支援します。（（公財）沖縄県産業振興公社）
- ・海外プロモーション事業及びリゾートウエディング事業において、泡盛の情報発信、利活用の促進強化などを行います。（（一財）沖縄観光コンベンションビューロー）
【再掲】
- ・米国・台湾での泡盛取扱業者への輸出とその業者と県内メーカーとの調整を行います。（（株）沖縄県物産公社）
- ・泡盛製造業者の事業展開に必要な資金（工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開、担保等）に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、資金需要がある泡盛製造業者の融資相談に対応します。（沖縄振興開発金融公庫）
- ・欧米・アジアでのモデル事業の実施を通じて、泡盛酒造所の販路拡大に向けた事例を共有します。（内閣府沖縄振興局、沖縄総合事務局、沖縄県）
- ・沖縄発の世界ブランドである空手と泡盛の関係性を活用し、空手家を新たなターゲット層とした市場拡大に取り組みます。（内閣府沖縄振興局、沖縄総合事務局、沖縄県酒造組合）
- ・欧米への海外展開を図る企業の取組を泡盛海外展開支援連絡会議により支援します。（内閣府沖縄総合事務局）
- ・各国の酒類専門バイヤーが来場する国際的な酒類展示見本市への出展を支援します。（国税庁）

- ・輸出関心事業者の相談を受け、海外マーケット情報、規制・手続等に関する情報提供・アドバイス、商談会等への出展支援等による輸出の成約に向けた取組を支援します。（農林水産省、独立行政法人日本貿易振興機構）
- ・泡盛輸出の拡大のため、アジア諸国のうち泡盛業界の関心の特に高い国・地域を対象に、セミナーや商談会、個社支援、知名度向上に向けた取組を段階的かつ体系的な輸出支援パッケージとして集中的に実施します。（独立行政法人日本貿易振興機構）

（３）品質・技術の向上／人材の育成

- ・プロダクトアウト発想とマーケットイン発想、双方の視点を持つ人材育成を行い、タイムリーな消費者ニーズを踏まえた商品提案が出来る人材を育成します。（沖縄県酒造組合）
- ・沖縄県卸売酒販組合の会員の泡盛に関する知識の向上を図り、日本語での商品説明はもとより、英語、中国語での商品説明能力の向上に取り組めます。（沖縄県卸売酒販組合連合会、沖縄県小売酒販組合連合会、沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所）
- ・小売酒販組合の会員の泡盛に関する知識の向上を図り、日本語での商品説明はもとより、英語、中国語での商品説明能力を向上させることにより、訪日外国人が泡盛のインフルエンサーとなることを目指します。（沖縄県小売酒販組合連合会、沖縄県卸売酒販組合連合会、沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所）
- ・泡盛製造業者の事業展開に必要な資金（工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開、担保等）に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、資金需要がある泡盛製造業者の融資相談に対応します。（沖縄振興開発金融公庫）【再掲】
- ・品質評価を通じて、泡盛酒造技術の発展及び品質向上を図るとともに、その結果を国内外の消費者に対して公表します。（沖縄国税事務所）

(4) ブランド力の向上

- ・各酒造所の原酒をブレンド貯蔵した「古酒の郷」を古酒のランドマークとして、古酒全体のブランドイメージを向上する取組を行います。（沖縄県酒造組合）
- ・首里城の銭蔵を活用することで、琉球泡盛の歴史・文化や存在価値・意義を踏まえ、古酒ブランド力の向上に取り組めます。（沖縄県酒造組合）
- ・泡盛製造業者の事業展開に必要な資金（工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開、担保等）に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、資金需要がある泡盛製造業者の融資相談に対応します。（沖縄振興開発金融公庫）【再掲】
- ・地理的表示（琉球）を活用したブランド力向上に取り組めます。（沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所）
- ・在外公館等において、会食、レセプション、文化事業等の機会を捉え、泡盛のPRを行います。（外務省）

（５）輸出環境の整備

- ・ 泡盛製造業者の事業展開に必要な資金（工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開、担保等）に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、引き続き、資金需要がある泡盛製造業者の融資相談に対応します。（沖縄振興開発金融公庫）【再掲】
- ・ 輸出の妨げとなっている各国の関税・非関税障壁の撤廃に向けて関係省庁で連携して取り組みます。（外務省、国税庁）

（６）インバウンドとの連携

- ・ クルーズ船内で、クルーズ客を対象とした「泡盛講座」を開催し、泡盛への理解増進と泡盛の購入促進に取り組みます。（沖縄県酒造組合）
- ・ 県内全酒造所が一堂に集結する「島酒フェスタ」で、観光客を対象に、地域DMOとの連携施策を図った酒蔵ツーリズムに取り組みます。（沖縄県酒造組合）
- ・ 海外プロモーション事業及びリゾートウエディング事業において、泡盛の情報発信、利活用の促進強化などを行います。（（一財）沖縄観光コンベンションビューロー）【再掲】
- ・ 沖縄県と沖縄県酒造組合が共催する泡盛振興推進部会及び関連するワーキング会議において、観光関連を含む関係団体とともに泡盛業界の取組への協力体制を構築します。（沖縄県、沖縄県酒造組合）
- ・ 平成29年度事業として実施している「訪日外国人受入に関する酒蔵及び外国人への調査事業」にて把握した各酒蔵の観光客受入状況を踏まえ、平成30年度事業として泡盛の酒蔵に特化した酒蔵ツーリズムのモデル事業等の実施を検討します。（観光庁）

2. 具体的な行動

- プロジェクト会員は、それぞれ「1. 行動計画」に記載した内容を実現するため、平成32年（2020年）まで、以下のとおり具体的な行動を実施します。

※平成30年度の実施については、平成30年度予算等の成立を前提としたものです。このため、今後事業内容等が変更となる可能性がありますので、ご注意ください。

(1) 情報発信の強化

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
1	消費者向け提案型 集約サイトを確立 【沖縄県酒造組 合】	泡盛百科の改修に よりスマホ対応や、 多言語対応、また 各酒造の提供コン テンツをまとめた、 消費者向けの提案 型集約サイトを確 立（日々更新）	H.P改修や映像及び 動画コンテンツの 作成、またSNSで の情報発信などの メディアスケ ジュール管理・コ ンテンツ管理を行 う。また「泡盛× 料理・スイーツ」 や「酒器を踏まえ た飲み方提案」な どのコンテンツ制 作及び管理運営を 行う。	全酒造所の「顔」が一堂に見えるH.P を制作、また属性別インバウンド観光 客の方々にも閲覧しやすいH.Pサイト の閲覧環境を整備		【沖縄県酒造組 合】 098-868-3727
2	【（一財）沖縄観 光コンベンション ビューロー】	観光情報発信を目 的とする多言語パ ンフレット、多言 語WEB、多言語 SNS等において泡 盛の紹介を行う。	沖縄の観光コンテンツの情報を発信する際に、泡盛の魅力等 を特集することを検討			【（一財）沖縄観 光コンベンション ビューロー】 誘客事業部 海外プ ロモーション課 098-859-6127
3	【（一財）沖縄観 光コンベンション ビューロー】	海外で実施する各 種イベント、旅行 博覧会、商談会、 観光物産連携事業、 沖縄ナイト等にお いて、泡盛の紹介 を行う。場合に よっては泡盛の試 飲も実施する。	海外イベント等における泡盛を紹介する情報発信、国によっ ては、旅行博や沖縄ナイト等での試飲の機会の提供など			【（一財）沖縄観 光コンベンション ビューロー】 誘客事業部 海外プ ロモーション課 098-859-6127

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
4	国のイベント等を活用した情報発信 【内閣府知的財産戦略推進事務局】	国内外で開催される発信力の高いイベントを活用して琉球泡盛の魅力を発信する。	内閣府が実施する国内外のイベント等を活用し、琉球泡盛の魅力を発信			【内閣府】 知的財産戦略推進事務局 03-3581-2549
5	インフルエンサー等による情報発信 【内閣府知的財産戦略推進事務局】	クールジャパンアンバサダー等を活用し、琉球泡盛の魅力（歴史や文化、製造方法、飲み方など）を広く国内外に発信する。	SNS等を通じて、琉球泡盛の魅力を国内外へ発信			【内閣府】 知的財産戦略推進事務局 03-3581-2549
6	インフルエンサー等による情報発信 【沖縄国税事務所】	泡盛情報コンテンツ（WEB、紙媒体）の英語版を作成するなど、外国人に向けた情報発信を行う。	AWAMORIクイーンズサポーターのSNS及び泡盛業界紙の記事を英訳し外国人に向けた情報発信を行う。	各コンテンツへのアクセス数などを分析し、効果的な情報発信媒体を検討		【沖縄国税事務所 間税課】 098-867-3601

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
7	海外メディア等を通じた泡盛情報の海外発信 【独立行政法人日本貿易振興機構】	関係団体が海外メディアやインフルエンサーを沖縄に招へいする機会を捉えて泡盛の紹介を行うことで、泡盛情報の海外発信を図り、海外での泡盛の知名度向上及び普及につなげる。	観光庁や沖縄観光コンベンションビューロー等の関係機関が海外メディアやインフルエンサーを招へいする際に、泡盛の酒蔵視察や泡盛文化を体験する機会を提供して泡盛への理解促進を図り、海外での泡盛情報の発信につなげる。	前年度の事業進捗等を踏まえ、関係機関等との連携をさらに強化し、より多く、より深い泡盛情報の海外発信につなげる		【独立行政法人日本貿易振興機構】 沖縄貿易情報センター 098-859-7002 農林水産・食品部 加工食品・酒類支援課 03-3582-8350
8	琉球泡盛海外輸出プロジェクト・ポータルサイトの構築 【プロジェクト事務局】	本プロジェクトに関する情報、支援施策等について、一元的な情報発信を行う。	随時情報更新			【沖縄総合事務局総務部】 098-866-0047 【沖縄国税事務所間税課】 098-867-3601 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

(2) 効果的な販路拡大・市場拡大

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
9	海外へアプローチするためのペルソナ調査分析 【沖縄県酒造組合】	海外顧客市場ニーズへの適切なマッチングを行うために、国別客層ペルソナ調査分析を実施。泡盛業界での共有のターゲット別嗜好指標を作成し、消費者のモチベーションを促すための機会創出の切り口を見出す。また、上記調査を踏まえた上で、海外の方に好まれる、食事のシーンに合わせた酒器などを含む飲み方提案。	インバウンド観光客を中心に、国別消費者の属性調査分析を実施。それを泡盛業界の共通指標化として活用。 年齢・性別・価値観・ライフスタイル・消費形態・情報感度、といった消費行動の価値決定基準を作成。また料理とのペアリング、食事のシーンに合わせた酒器などの飲み方調査を実施。	属性ターゲットの各種基準を定期的に情報更新し、生きた調査データとして、全組合員の海外戦略施策のターゲティング指標として活用。それにより、計画的営業活動や効果的な商品開発を行い、集中的アプローチを促していく		【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
10	国内の大型酒類展示見本市への出展 【沖縄県酒造組合】	各国のバイヤーが来場する国内での大型酒類展示見本市への出展。	日本酒造組合中央会と連携して国内の大型酒類展示見本市（FOODEX JAPAN等）へ出展し、来場している各国のバイヤーに対し泡盛を売込。	海外バイヤーの来場状況、商談の成約状況等を分析し、今後の需要拡大に有効な機会の検討		【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
11	沖縄国際物流ハブ 活用推進事業 【沖縄県産業振興 公社・沖縄県】	ANA航空貨物便の 就航地域を中心に、 アジア主要都市へ の県産品の販路拡 大を目指す県内企 業に対して支援を 実施する。	(1) 以下の項目 について費用の一 部補助を行う。 ①見本市・物産展 等への渡航費用 ②海外バイヤー等 の招聘費用 ③現地での販売促 進活動費用 ④商品改良に関す る費用など (申請期間(予 定): 4月~2月) (2) 中国、台湾 における見本市へ の県内企業等によ る出展を支援する。	前年度の実績等を踏まえ、 引き続き実施		【(公財) 沖縄県 産業振興公社】 海外・ビジネス支 援課 098-859-6238
12	沖縄大交易会 【沖縄県産業振興 公社・沖縄県】	沖縄の地理的優位 性を活かした国際 物流貨物ネット ワークの構築・更 なる拡大を図る目 的で、日本最大規 模の「食」をテー マとした国際食品 商談会「沖縄大交 易会」を開催する。	沖縄の国際物流ハ ブを活用して海外 への輸出促進を図 るサプライヤーを 日本全国から募集 する他、アジアを 中心とした国内外 のバイヤーを招聘 する。 (大交易会開催時 期: 11月(昨年実 績)) ((サプライヤー 募集期間(予定) 4 月~7月(昨年実 績))	前年度の実績等を踏まえ、 引き続き開催		【沖縄大交易会実 行委員会事務局 (沖縄県産業振興 公社内)】 098-851-7463

	支援メニュー【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度（2020 年度）	問い合わせ先
13	【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】	沖縄に寄港するクルーズ船社に対して、船内における泡盛の活用を働きかける。	クルーズ船内において、寄港地の観光案内や特産品を紹介する場を設けることもあることから、そのような機会に泡盛の情報提供や船内のレストラン等での活用を働きかける			【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】 誘客事業部 海外プロモーション課 098-859-6127
14	【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】	沖縄リゾートウェディング協会が有する引き出物委員会等において、琉球泡盛の中でもウェディングに関連性の高い商品の活用を促進するよう情報提供を行う。	国内外からリゾートウェディングの挙式数が増加する中、パーティー等での泡盛の活用や、引き出物として、ウェディングのイメージ（泡盛が入るガラス、デザイン等）に即した商品を沖縄ならではの贈答品として情報発信			【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】 誘客事業部 海外プロモーション課 098-859-6127
15	【（株）沖縄県物産公社】	米国での泡盛取扱業者と県内メーカーとの調整（輸出手配、販促活動等）	現地業者の要望に基づき、広告、見本市出展、試飲会開催を検討する。 （西海岸中心）	30年度の実績を全米へ拡大		【（株）沖縄県物産公社】 海外ビジネス課 098-859-6325
16	【（株）沖縄県物産公社】	台湾での泡盛取扱業者と県内メーカーとの調整（輸出手配、販促活動等）	現在のところ未定 （現地業者、メーカーの意見ヒアリングを検討）			【（株）沖縄県物産公社】 海外ビジネス課 098-859-6325

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
17	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (特産品振興貸付 制度) 【沖縄振興開発金 融公庫】	貸付先：泡盛を製 造する者 利率：設備 特別 利率、運転 基準 利率 貸付期間：設備20 年、運転7年 据置期間：設備・ 運転とも2年 貸付限度額：設備 720百万円、運転 250百万円	各事業者の個別の資金需要に対応			【沖縄振興開発金 融公庫】 融資第二部中小企 業第一班 098-941-1785
18	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (泡盛古酒製成事 業) 【沖縄振興開発金 融公庫】	上記のうち、泡盛 古酒製成事業に係 るものは、 貸付期間：設備20 年、運転10年 据置期間：設備5年、 運転3年 貸付限度額：設備 720百万円、運転 480百万円 と優遇。	各事業者の個別の資金需要に対応			【沖縄振興開発金 融公庫】 融資第二部中小企 業第一班 098-941-1785
19	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (泡盛在庫担保制 度) 【沖縄振興開発金 融公庫】	泡盛製造業者につ いては、不動産担 保に代わり、泡盛 の在庫を担保とし て提供が可能。	各事業者の個別の資金需要に対応			【沖縄振興開発金 融公庫】 融資第二部中小企 業第一班 098-941-1785

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
20	沖縄の酒類製造業 自立経営促進事業 【内閣府沖縄振興 局・沖縄総合事務 局・沖縄県】	海外への販路開拓 などに向けた先導 的・モデル的な事 業の実施を泡盛酒 造所に委託し、そ の取組結果、ノウ ハウ等を公表する ことにより、泡盛 製造業全体として 海外展開の動きの 促進を図る。	欧米・アジアの現 地市場での「ブラ ンド・イメージ」 の在り方の調査・ 検討、現地でのテ ストマーケティング 等の実施を委託。	テストマーケティング等の状況を踏ま え、モデル事業の実施を検討		【内閣府】 沖縄振興局調査金 融担当参事官室 03-6257-1673 沖縄総合事務局総 務部 098-866-0047
21	空手とのコラボに よる市場拡大 【内閣府沖縄振興 局・沖縄総合事務 局・沖縄県酒造組 合】	沖縄発の世界ブラ ンドである空手と 泡盛の関係性を活 用し、空手家を新 たなターゲット層 とし、市場拡大を 検討する。空手関 係者との結節点 を見出し、関係構築 に努めるとともに、 新たなマーケティ ング活動を行う。	空手と泡盛の関係 性調査 空手関係団体との 関係構築 第1回沖縄国際空 手大会における泡 盛PR	オリンピックに向けた 海外空手家への普及 SNS等による情報発信		【内閣府】 沖縄振興局調査金 融担当参事官室 03-6257-1673 沖縄総合事務局総 務部 098-866-0047 【沖縄県酒造組 合】 098-868-3727

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
22	泡盛海外展開支援 連絡会議 【内閣府沖縄総合 事務局】	欧米への展開を図 る企業4社（忠孝酒 造(株)、瑞泉酒造(株)、 (株)久米島の久米仙、 (株)Blueship沖縄）の 取組を支援するた め、企業の海外展 開を支援する「沖 縄国際ハブクラ スター事業」の一環 として、沖縄国税 事務所等の関係機 関が参画する会議 を設置。泡盛の海 外展開について支 援の方法や可能性 について議論をす すめ、総合的な支 援を行う。	海外向け製品を 検討			【内閣府沖縄総合 事務局】 経済産業部国際室 098-866-1740
				アイスランド共和国及び欧州第2国でのプロモーションを検討		
				米国でのプロモーションの 検討		
23	海外の大型酒類見 本市への出展支援 【国税庁】	各国の酒類専門バ イヤーが来場する 国際的な酒類展示 見本市への出展を 支援する。	各国の酒類専門バ イヤーが来場する 国際的な酒類展示 見本市への出展を 支援	海外バイヤーの来場状況、商談の成約 状況等を分析し、出展先を検討		【国税庁酒税課】 03-3581-4161

		概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
24	海外需要創出等支援対策事業 【農林水産省】	JETROが行う泡盛を含む輸出関心事業者に対する海外マーケット、規制・手続に関する情報提供・アドバイス、商談会等への出展支援の取組を農林水産省が支援する。	JETROが行う泡盛を含む輸出関心事業者に対する海外マーケット、規制・手続に関する情報提供・アドバイス、商談会等への出展支援の取組を農林水産省が支援	取組成果を検証しつつ、支援の実施		【農林水産省】 輸出促進課 03-3502-3408 【独立行政法人日本貿易振興機構】 沖縄貿易情報センター 098-859-7002 農林水産・食品部 加工食品・酒類支援課 03-3582-8350

		概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
25	泡盛特化型輸出支援パッケージ 【独立行政法人日本貿易振興機構】	泡盛輸出の拡大のため、アジア諸国のうち泡盛業界の関心の特に高い国・地域を対象に、セミナーや商談会、個社支援、知名度向上に向けた取組を段階的かつ体系的な輸出支援パッケージとして集中的に実施。	泡盛酒造者の貿易相談対応、情報提供の実施	専門家による泡盛酒造者の個社支援を実施	酒蔵等を対象に泡盛輸出セミナーを複数回実施	【独立行政法人日本貿易振興機構】 沖縄貿易情報センター 098-859-7002 農林水産・食品部 加工食品・酒類支援課 03-3582-8350
			国内輸出商社等とのマッチングを実施。輸出商社向け泡盛セミナーも開催			
				海外酒類バイヤー等を招へいし、泡盛製造現場視察やセミナー、商談会を実施		
				前年度の事業進捗等を踏まえ、海外見本市への出展支援や、海外での泡盛商談会・セミナー開催など発展的な事業展開を検討		
					上記パッケージ支援のPDCAを回しつつ、他の海外市場への横展開を検討	

(3) 品質・技術の向上／人材育成

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
26	横断的かつ俯瞰性を兼ねた中核人材育成 【沖縄県酒造組合】	プロダクトアウト発想とマーケットイン発想、双方の視点を持つ人材育成を行い、タイムリーな消費者ニーズを踏まえた商品提案が出来る中核人材を育成。	中核人材を育成することで、業界全体の官能開発の底上げと、的確な商品開発力の向上により、他酒類との差別化をより明確にしていく。	各部門の垣根を越えた、高度な人材を育成し、各酒造所での人材育成の波及効果を促して業界競争力を更につけていく		【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
27	酒類卸売業者の泡盛に関する知識の向上 【沖縄県卸売酒販組合連合会・沖縄県小売酒販組合連合会・沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】	沖縄県小売酒販組合の会員へ泡盛に関する知識の向上を図るための研修を実施、日本語での商品説明はもとより、英語、中国語での商品説明能力の向上につなげる。	泡盛に関する基本的な知識の向上を図る。	泡盛フレーバーホイール等を活用した商品説明が出来ることを目標とした研修を実施		【沖縄県卸売酒販組合連合会】 090-1360-8745
28	訪日外国人に対する販売力強化 【沖縄県小売酒販組合連合会・沖縄県卸売酒販組合連合会・沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】	沖縄県小売酒販組合の会員へ訪日外国人への販売力強化を目的とした泡盛に関する知識の向上を図るための研修を実施し、日本語での商品説明はもとより、英語、中国語での商品説明能力の向上を目指す。	研修を行うことで訪日外国人客に対する販売力を強化し、泡盛の購入を薦めることができる接客を行う。	接客だけでなく、訪日外国人客が泡盛購入時に写真を撮りSNSに掲載したくなるような売場環境作りを目指す		【沖縄県小売酒販組合連合会】 098-943-8775

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
29	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (特産品振興貸付 制度) 【沖縄振興開発金 融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な 販路拡大・市場拡 大」を参照				
30	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (泡盛古酒製成事 業) 【沖縄振興開発金 融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な 販路拡大・市場拡 大」を参照				
31	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (泡盛在庫担保制 度) 【沖縄振興開発金 融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な 販路拡大・市場拡 大」を参照				
32	泡盛鑑評会におけ る品質評価の実施 及び結果公表 【沖縄国税事務 所】	品質評価を通じて、 泡盛酒造技術の発 展及び品質向上を 図るとともに、そ の結果を国内外の 消費者に対して公 表する。	国税職員や学識経 験者などの専門家 のほか、外国人審 査員も交えて品質 評価を実施。 その結果は日本語 のほか、英語でも 公表。	表彰式や結果公表などの実施方法につ いて検討しつつ、継続して実施		【沖縄国税事務所 間税課】 098-867-3601

(4) ブランド力の向上

		概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
33	沖縄県産泡盛の地理的表示「琉球」の活用促進 【沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】	GI「琉球」の事業者における活用、及び消費者向けPR活動を実施する。	日EU・EPA交渉におけるGI「琉球」保護の合意、平成30年2月の指定内容見直しなどを契機とする周知啓発イベントを実施する。	他のGI指定地域の事例などを参考に、海外での事業についても検討		【沖縄県酒造組合】 098-868-3727 【沖縄国税事務所 間税課】 098-867-3601
34	「古酒の郷」を古酒ブランド発信基地として活用 【沖縄県酒造組合】	各酒造所の原酒をブレンド貯蔵した「古酒の郷」を古酒のランドマークとして、古酒全体のブランドイメージを向上する。	古酒の郷の貯蔵ブレンド商品化に伴う、市場調査と商品及びネーミング・パッケージ制作などを企画し実行する。	古酒ブランド全体のブランディングにつなげる事業施策として展開		【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
35	首里城による琉球泡盛の歴史的価値に伴うブランド訴求活用 【沖縄県酒造組合】	観光名所である首里城銭蔵を活用することで、琉球泡盛の歴史や文化、またその存在価値や意義を踏まえて、古酒ブランディング力の向上を促す。	11/1の泡盛の日を皮切りに、琉球王国の当時を彷彿させるイベントを開催。 インバウンド観光客へ泡盛の歴史説明や試飲体験などを実施する。	沖縄観光のランドマークである首里城での泡盛プロモーションを実施し、泡盛体験機会や泡盛への理解促進を促していく		【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
36	【(株) 沖縄県物産公社】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
37	【(株) 沖縄県物産公社】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
38	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (特産品振興貸付制度) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
39	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛古酒製成事業) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
40	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 (泡盛在庫担保制度) 【沖縄振興開発金融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
41	琉球泡盛のPR 【外務省】	各国・地域の在外公館等にて、会食、レセプション、文化事業等の機会を活用し、任国要人や現地バイヤー等に、泡盛のPR及び売り込みを実施。	バンコク、上海、香港、サンフランシスコ、ホノルル、ロサンゼルス等泡盛の海外輸出先としてポテンシャルの高い地域（沖縄県海外事務所設置都市やビジネス環境に恵まれた地域）の公館等にて、モデル事業を実施すべく調整中。	各地のグッドプラクティスを横展開し、効果的なPRを促進		【外務省】 経済局官民連携推進室 03-5501-8336

(5) 輸出環境の整備

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
42	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (特産品振興貸付 制度) 【沖縄振興開発金 融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な 販路拡大・市場拡 大」を参照				
43	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (泡盛古酒製成事 業) 【沖縄振興開発金 融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な 販路拡大・市場拡 大」を参照				
44	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (泡盛在庫担保制 度) 【沖縄振興開発金 融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な 販路拡大・市場拡 大」を参照				

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
45	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (海外展開貸付制 度) 【沖縄振興開発金 融公庫】	貸付先：海外展開 事業を行う者 利率：基準利率～ 特別利率 貸付期間：設備20 年、運転7年 据置期間：設備・ 運転とも2年 貸付限度額：設備 720百万円、運転 250百万円	各事業者の個別の資金需要に対応			【沖縄振興開発金 融公庫】 融資第二部中小企 業第一班 098-941-1785
46	関税引き下げに向 けた交渉 【外務省、国税 庁】	泡盛に対して高関 税が設定されてい る国・地域への泡 盛（焼酎）の関税 引き下げに向けた 交渉	RCEP交渉、日台貿易経済会議等を通じた関税引き下げの働き かけ			【外務省】 経済連携課 03-5501-8341 中国・モンゴル第 二課 03-5501-8439 【国税庁酒税課】 03-3581-4161
47	米国における蒸留 酒の容器・容量規 制の緩和 【国税庁】	米国における蒸留 酒の容器・容量規 制の緩和によって、 国内では一般的な 4合瓶等の流通を 可能とする。	平成29年11月の日 米首脳会談で、米 側で規制改正を検 討している旨確認 済み。 緩和の実現に向け た協議を当局間で 継続。	引き続き様々な機会を捉えて、規制緩 和を働きかける		【国税庁酒税課】 03-3581-4161

(6) インバウンドとの連携

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
48	クルーズ船内での 包括的プロモーション 【沖縄県酒造組合】	クルーズ船内で、 クルーズ客を対象 とした「泡盛講 座」を開催し、泡 盛への理解増進を 図るとともに、泡 盛の観光土産とし ての購入促進を図 る。	船内のアトラクシ ョンの一環として、 「泡盛講座」を定期 的に開催し、泡盛の 歴史的・文化的な説 明とともに、泡盛カ クテルなどの試飲等 を行い、泡盛の購入 促進を図る。	クルーズ船内での「泡盛情報発信基 地」として、「泡盛講座」の常設化に 向けて検討		【沖縄県酒造組 合】 098-868-3727
49	地域性を兼ねた包 括的酒蔵ツーリス ムの展開 【沖縄県酒造組 合】	県内酒造所が一堂 に集結する「島酒 フェスタ」で、観 光客を対象に、地 域DMOとの連携施 策を図った包括的 な酒蔵ツーリズム に取り組む。	各地域の特色を掘 り下げて、各地域 のアイデンティ ティを示した上で 泡盛の魅力を掛け 合わせ施策を展開。 (例) 首里×泡盛、 中部×泡盛、 北部×泡盛等 地域の特色や特性 を踏まえた、その 地域ならではの泡 盛の接し方を体験 するツーリズムな ど。	地域の日常の生活感を醸し出した地域 別包括的酒蔵ツーリズムでのプロモ ーションを展開		【沖縄県酒造組 合】 098-868-3727

	支援メニュー 【団体名】	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	問い合わせ先
50	【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】	海外から沖縄に招聘する航空会社、旅行社、メディア関係者等に酒造所を視察してもらう。	インバウンド観光の魅力として、酒造所等の紹介による機内誌やメディア媒体での記事掲載を働きかける			【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】 誘客事業部 海外プロモーション課 098-859-6127
51	泡盛振興推進部会・海外販路開拓WT 【沖縄県、沖縄県酒造組合】	外国人観光客を中心とした海外における泡盛の売り方、見せ方、飲み方の提案等や現状の課題等について、構成団体と意見交換を行うとともに、泡盛業界内で情報共有を行う。	当該テーマについて、現状の取組の確認等を行い、関係団体と意見交換を行うとともに、泡盛業界内で情報共有を行う。	平成30年度の取組状況等により検討		【沖縄県】 商工労働部ものづくり振興課 098-866-2337 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
52	泡盛振興推進部会・クルーズ船関連WT 【沖縄県、沖縄県酒造組合】	増加する海外からのクルーズ船での泡盛普及促進や入港後の酒蔵ツーリズムへの誘導等について、構成団体と意見交換を行うとともに、泡盛業界内で情報共有を行う。	当該テーマについて、現状の取組の確認等を行い、関係団体と意見交換を行うとともに、泡盛業界内で情報共有を行う。	平成30年度の取組状況等により検討		【沖縄県】 商工労働部ものづくり振興課 098-866-2337 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
53	訪日外国人による酒蔵訪問の受入体制整備 【観光庁】	訪日外国人旅行者の受入状況や酒蔵ツーリズムの認知度、消費動向等に関する調査を行い、酒蔵ツーリズム振興のための課題を抽出・検討する。	國酒の製造場を対象に実施した平成29年度事業の結果を踏まえ、琉球泡盛に特化した事業実施を検討。	平成30年度事業の結果を踏まえ、泡盛に関する酒蔵ツーリズム振興策の具体化		【観光庁】 観光資源課 03-5253-8924

（参考） 泡盛酒造所の具体的な行動

- 「3年後に倍増」計画を実現するため、泡盛酒造所は、平成32年（2020年）まで、それぞれ以下のとおり具体的な行動を行います。

事業名	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)
中国市場への展開	中国市場での泡盛出荷拡大を図るべく、商社が中国に設置する沖縄の特産品を取り扱うショールーム（沖縄館）にブースを設置。販売員による試飲・商品の説明を行い、泡盛の購入と卸取引の商談も常時実施。	現地で今年3月にオープン予定の、沖縄の特産品を取り扱うショールームにブースを設け、そこでの商品の販売		
インバウンドへの対応、輸出に向けた製品、販路づくり	外国人観光客の酒造所見学に対応するために、翻訳機の導入や英語表記の製造工程の説明書を実施。	HPの英訳版・北京語版・韓国語版の作成。酒造所及び商品説明のカタログ英訳版・北京語版・韓国語版の作成		
	海外にも通用する製品デザインの分析及び既存商品のリブランディングを実施。販路拡大にも取り組む。	海外に販売手段を持つバイヤー、酒飯店の取引先開拓		

事業名	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)
アジア市場への展開	外国人観光客が自国に帰ってからも売り上げに繋がるようなシステム作り	インバウンド向けにリゾートホテル等で試飲販売を実施。 同時にQRコードから香港、台湾、韓国で飲食、購入できる店の情報を発信。SNS等でも常時情報を発信する 台湾、香港で飲食店にプロモーションを実施、飲食店へマネキンを派遣して試飲してもらい、アンケートやゲームなどで商品の認知度を高めメニューの定番化をはかる		
	県内企業と現地営業を展開	共同で営業事務所を設置	共同で現地法人を立ち上げ、同法人により、輸出、現地での輸入を行い、価格面での競争力を強化し、売り上げを伸ばす	
アメリカ、香港、台湾への展開	現地にあったボトルやラベルのデザインや展示会への出展	米国向け) 現地にあったボトルとラベルデザインの制作、ライセンスに合わせ度数の変更 集客が多い州に絞った代理店の展示会への参加		
		香港向け) 毎年7月にデパートで開催される「沖縄店」への出展、同じくデパートで年末に開催される泡盛カクテル試飲販売会への参加等デパートでの販売をメインに、定期的なイベントへの参加		
		台湾向け) 現地にあったボトルとラベルデザインの制作 台湾最大の展示会「FOOD TAIPEI」にジェトロを通して昨年より単独出展 台北市を中心に定期的に訪問 (3カ月に1度)、小売店はデパートメインで商品案内、飲食店は和食の店へ商品提案 今後は現地代理店の支店がある台中・台南・高雄も視野に入れながら展開		

事業名	概要	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)
欧米市場への泡盛の展開	欧米市場への、ハードリカーとしての泡盛の展開を図るべく、ボトル等の制作、プロモーション、情報発信の強化を行う。	ボトル、ラベル製作		
		アイスランドにおけるプロモーション		
		海外展開に向けた情報発信手法（HP、SNS等）の強化		
		アイスランド以外の欧州2か国での泡盛カクテルコンペティションの実施		
泡盛カクテルレシピ開発及びレストラン展開	北米市場での泡盛出荷拡大、図るべく北米のバーテンダーに依頼して泡盛ベースのカクテルを作成。現在3店舗でメニュー掲載。イベント開催、レストラン内での泡盛（沖縄）セミナーを通じてAWAMORIを飲酒シーンに入れ込む。	レストラン、大使公邸を活用して泡盛（カクテル含む）が主の食事会を開催		
		泡盛に合う、現地で調達可能な食材で簡単にできる料理やつまみの提案		
		「泡盛ベルト」（空手の有段資格のような）制度を実施		